

J A全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 滋賀 第17回滋賀県大会 大会要項

1. 主 旨

少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大につとめる。

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 主 催 日刊スポーツ新聞社

3. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会・公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会

4. 特別協賛 全国農業協同組合連合会（J A全農）

5. 日程・会場

ブロック予選：7月～11月 湖西・湖南・湖東・湖北・甲賀各ブロック

説明会・抽選会：2021年12月12日（日） 栗東ウイングプラザ4階 研修室E

1日目：2021年12月18日（土） 2日目：2021年12月19日（日） ビッグレイク

※本大会の上位2チームは、J A全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 関西に出場する。

期日：2022年3月5日（土）・6日（日） 会場：奈良県 御所市民運動公園

※全国大会：2022年5月3日～5日 神奈川県

6. 県大会出場チーム数 湖西：5 湖南：2 湖東：5 湖北：2 甲賀：2 合計16

7. 組み合わせ 開会式で抽選を行い決定する。

8. 参加資格

- 1) 参加チームは、当年度にJ F Aに加盟登録し、単一のチームとして年間を通じて継続的に活動していること。
- 2) 参加選手は、上記加盟チームに選手登録し、そのチームを主たる活動場所とする者で、小学校5年生以下であること。
- 3) ひとつの団体から複数のチームが出場する場合、全てのチームにおいて、夫々必ず1名以上、その大会の対象学年の選手を登録しなければならない。
- 4) 試合当日、参加選手は顔写真が確認できる選手証（電子版可）を保持し、必要時に提示すること。
- 5) ブロック予選から上位大会に至るまでに、同一選手が異なる加盟チームに移籍して再び参加することはできない。
- 6) 参加チーム及び選手は、各ブロック予選を勝ち抜いたチーム・選手とする。
- 7) 参加チームは、本大会の全ての日程に無条件で参加できるよう、予め学校や地区行事等との調整しておくこと。
- 8) 指導者はチームに所属する成人で、良識ある社会人として責任を持って選手を掌握指導できる者であること。また、内1名以上がJ F A公認指導者資格（D級以上）を有すること。
- 9) チーム代表者は、選手が心身ともに健康で大会への参加に問題がないことを、事前に保護者等に確認しなければならない。（参加承諾等を書面で確認することが望ましい）
- 10) 参加チームは必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
- 11) 2022年3月の関西大会、5月の全国大会に無条件で参加可能であること。

9. 参加費 5,000円

10. 競技規則 大会開催時に適用の公益財団法人日本サッカー協会の規約・規程・競技規則に則る。
参照用URL <http://www.jfa.jp/documents/>

11. 競技会規定【以下の項目については本大会の規定を定める】

- 1) 16チームのトーナメント方式とする
 - ・引き分けの場合はPK戦(3人)により勝者を決定する。
 - ・決勝戦のみ、引き分けの場合6分間(前・後半各3分)の延長戦を行う。延長戦に入るまでのインターバルは5分とする。延長戦でも決しない場合はPK戦(3人)により勝者を決定する。
- 2) 試合時間は12分×3ピリオド(12分-1分-12分-5分-12分)とする。
 - ・第3ピリオドについて
開始時のエンドは第1ピリオドと同じとし、中間点でエンドを替える。キックオフは第1ピリオドと逆のチームが行う。エンド交替後のキックオフは、第3ピリオド開始時と逆のチームが行う。エンド交替の際は休憩をとらず、時間の計測を止めない。
 - ・選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長することがある。
- 3) 1チーム8人の競技者によって行う。チームの競技者のうち1人はゴールキーパー(以下GK)とする。参加チームの人数が16人に満たない場合は試合を開始しない。試合中、怪我などやむを得ない理由で人数不足になり、ピッチ上の選手数が8人に満たなくなった場合、試合はそのまま続行する。
- 4) 選手登録数
 - ・県大会は16名以上の登録を義務付ける。最大人数は制限しない。(関西大会は16名以上20名以内)
 - ・試合開始時に16名に満たない場合は不戦敗とし、0対3で相手チームの勝利として記録する。
- 5) 第1、第2ピリオド間の選手入れ替え
第1ピリオドに一度でも出場した選手は第2ピリオドに出場できない。第3ピリオド及び延長戦は制限しない。第1ピリオド終了時に、選手はベンチの反対側のタッチラインからピッチを出ること。
- 6) 選手の交代
インプレー中も、交代ゾーンから登録選手内で自由に交代できる。ただしGKは主審の許可を得て試合中断時に交代すること。GKが交代で退く際は、最も近い境界線からフィールドを出なければならない。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されないが、前項の選手入替規定を逸脱しないよう十分に注意すること。
- 9) 競技のフィールド
フィールドの大きさは68m×50mを基本とし、その他のマーク等は8人制サッカー競技規則に則る。
- 10) 試合球 4号球を使用する。
- 11) 競技者の用具
 - ① スパイクシューズを使用する場合は、ポイントが固定式で、金属が露出していない安全な物であること。
 - ② 試合当日、参加チームは登録した正副両方のユニフォームを用意すること。
 - ③ 選手番号については「参加選手」ごとに本大会に登録された固有の番号を使用すること。ただし、GKの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤー(以下FP)がGKに代わる場合については、その競技者固有の番号の表示を義務付けるものではない。
 - ④ ユニフォームに番号を取り付ける場合は、容易に破損しない布地を使用し、全周囲を途切れることなく縫い付けること。四隅のみの縫い付けや、安全ピン・ホック・ボタン等の使用は認めない。
 - ⑤ 競技者は、シャツの裾をパンツに入れることが望ましい。審判または大会運営役員からシャツの裾をパンツに入れるよう指示された場合は従うこと。
 - ⑥ 特に注意すべき点を以下に示す。【 】内は規定条項またはJFA関連通達名
 - a) 【ユニフォーム規定第4条1項】ユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒と明確に判別し得るものでなければならない。(黒以外に濃紺や深緑も不可となる場合があるので注意すること)
 - b) 【ユニフォーム規定第4条2項】シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。パンツ及びソックスの前面と背面の色彩は同じでなければならない。
 - c) 【ユニフォーム規定第4条4項及び5項】対戦チームのユニフォームは当事者同士で譲り合って調整すること。調整の際、登録したユニフォームをどのように組み合わせてもよい。当事者で調整できない場合はその試合の主審を交えて調整する。
 - d) 【ユニフォーム規定第5条(2)】シャツの背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。シャツの前面にも選手番号を表示することが望ましい。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄で判読が困難な場合には台地を付ける)であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - e) 【ユニフォーム規定第5条(2)】番号は整数の1から99を使用すること。0は認めない。(ただしチームのJFA登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認めることがある)
 - f) 【ユニフォーム規定第5条】シャツの背中部分には、選手名、選手番号、メーカーロゴ以外の表示があってはならない。

- g) 【ユニフォーム規定第8条による特別規定】ユニフォームに広告を表示してはならない。ただし、正規の承認申請を行い、大会開始前にJFAに承認された場合は認める。
- h) GKが着用する膝ガード用サポーターの色は規定しない。
- i) 【2020年3月18日通達】GKのパンツ、ソックスはFPと同系色でもよい。GKのシャツの色彩は、他の競技者、審判員と明確に判別できるものでなければならない。ビブスによる対応は認めない。
- j) 【8人制サッカー競技規則第4条】両チームのGKのユニフォームが同色で、両者が他のユニフォームと着替えることができない場合、両チームのGKは同じ色彩でも良い。
- k) 【2020年3月18日通達】アンダーシャツ・アンダーショーツおよびタイツの色は規定しない。ただしチーム内で同色のものを着用すること。着用するかどうかは統一しなくてよい。同一チーム内で複数のGKが着用する場合は同色とすること。
- l) 【2020年3月18日通達】ソックステープ等の色は規定しない。
- m) 【2020年3月18日通達】同一チーム内でユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。

12) テクニカルエリア

- ① テクニカルエリア(ベンチ)に入れる人数は、エントリー選手全員と、指導者2名以上3名以内とする。
- ② その都度ただ1人の指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- ③ 選手及び指導者は、必要時以外は常に着席していること。

13) 審判

試合は1人の主審と1人の補助審判で運営される。審判員は県協会より派遣する。

12. 懲罰

- 1) 本大会の予選(ブロック予選)は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、本大会において順次消化する。
- 2) 本大会は、日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、規律・フェアプレー委員会を設ける。
- 3) 規律・フェアプレー委員会の委員長は、滋賀県サッカー協会4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- 4) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- 5) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置は本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。競技者が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間、試合を停止する。
- 6) 規定のない事項の懲罰については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。

13. 表彰

優勝、準優勝チームにカップ・トロフィー及び賞状、3位・4位のチームにトロフィー及び賞状を授与する。

14. その他

- 1) 本大会の一部の試合において、マッチウェルフェアオフィサーを置く。チーム責任者は、マッチウェルフェアオフィサーの活動に協力すること。
- 3) 主催者は、大会中の災害・事故・怪我・疾病等についての責任を負わない。防災・防疫対策については、試合会場管理者の指示に従うこと。
- 4) チームの都合による遅刻は認めない。止むを得ない事情により到着が遅れる場合は必ず大会本部に連絡して指示を仰ぐこと。事前に遅刻の連絡があった場合、大会本部がその理由や他チームの都合を考慮して日程調整の可否を検討する。連絡せず試合開始予定時刻を過ぎても到着しない場合、試合放棄による棄権とみなし、0対3で相手チームの勝利とする。以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
- 2) 本大会は「大会要項」「県大会における注意事項」「4種委員会規約及び申し合わせ」に則り運営する。規定のない事項は大会本部が決定する。
- 5) 大会本部は、悪天候や諸事情により大会を中止または延期する場合、ブロック長を通じてチームに連絡する。

JA全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 滋賀 第17回滋賀県大会 決勝トーナメント



県大会出場チーム

湖西ブロック代表【5チーム】

仰木スポーツ少年団サッカー部
 オールサウス石山SCJr
 和邇フットボールクラブ
 青山ジュニアフットボールクラブ
 TSC

湖南ブロック代表【2チーム】

DCM セントラル シガ
 アミティエ・スポーツクラブ草津

湖北ブロック代表【2チーム】

南郷里FV
 浅井フットボールクラブ

湖東ブロック代表【5チーム】

北野サッカークラブ
 彦根フットボールクラブ
 FCアドバンス
 FCジュニオール滋賀
 野洲ジュニア・フットボール・クラブ

甲賀ブロック代表【2チーム】

A. Z. R 1st
 Multa Konan fc